市長施政方針を説明

留萌市振興五ヵ年計畫を樹立

産業基盤整備に重点

〝住むために快適な留萌〟の建設え

去る三月十一日から開催された留萌市議会第一回定例会で、市長は昭和三十二年度の施政方針の説明を行い、本年度より本道總合開發第二次五ヵ年計画が実施されるので、これと呼應して昭和三十二年度から昭和三十六年度間の「留萌市振興五ヵ年計画」を作成したのであつて、本計画は基礎施設の整備に最重点をおき、生産施設の整備擴大、文化厚生施設の充實、一般行政施設の整備を强力におし進め「住むために快適な留萌」「投資地として有利な留萌」の建設え邁進する旨大要次のようにあきらかにしました。

事業費總額

五ヵ年度間の事業費總額は一百七億二千一百六十三万六千円でありまして、事業費の比重は、基礎施設費が七十七億六千七百七十五万八千円で七二、四%、生産施設費が二十一億九千七百七十五万円で二〇、五%、文化厚生施設費が六億七千四百十四万二千円で六、三%、一般行政施設費が八千一百九十八万六千円で〇、八%となり、事業費負担區分は、國費七十六億九千九百十九万四千円で七一、八%、道費一億八千二百六十二万五千円の一、八%、市費負担は四億三千三百四万円で四、〇%、団体費六億二百二十四万一千円で五、六%、一般民間の会社、個人の投資期待額は十八億四百五十三万六千円で一六、八%となつております。

基礎施設の整備

第一に港灣施設の整備擴充を掲げ、次は鐵道の遠羽線深川芦別線、達布線の完成と市内及び市外主要道路、橋梁の新設、改良、留萌川の改修、都市計画事業による公園、街路、側溝等の整備とこれを推進する機関としての開發会社の創立も考えております。

生産施設の整備

農業においては國の寒冷地農業確立政策と呼應して、本市の現況に最も適した方法によることにし、特に畜産の振興を重視しました。

水産は現在漁業經營上の最大課題である鰊漁轉換を最優先順位におき、大、中型漁船建造による沖合漁業進出と浅海増殖事業の大巾な実施をとりあげ、鉱業については地下資源の開發を主眼点とし、工業にあつては新らたに沖合漁業進出上不可欠の要件である漁船建造工業会社の設立、ハードボード、木材工業の誘致、低品位炭を利用する製塩及び石炭乾溜工業の創始等を計画いたしましたほか、現在の水産加工業の改良振興に主力を注がんとするものであります。本市の水産加工業の生産額は、総生産額の二五%乃至三〇%に達するのでありまして産業上重要な比重をもつているものでありますがその大宗を鰊に求め、しかも原始的な第一次加工に止まつて低位産業の域を出ていなかつたのであります。のみならず近年鰊漁の不安定性は增大して來ているので、全般的漁業の再編成、轉換を斷行し、併せてこれが加工部面も水揚量、水揚漁種に伴つて多角化、高度化する必要に迫られていますので、その方策として

一、水揚品の約七割を加工に移行する。

二、モデル水産加工場を設置して高度加工の先達とする。

三、民間多角、高度加工工業の振興を図る。

ため、市の水産機構を擴大し、所要の指導員を常置せんとするものであります。

計畫遂行による生産額

生産施設のうち農、畜、水林産の第一次産業部門は、計画前生産額昭和二十六年乃至三十年の平均額は六億九千六百三万七千円でありますが、これを第一次計画遂行により、九億七千一百六十一万四千円に上昇せしめんとするものでありまして、その增加率は、三九、五%となり、これによる市民の利潤增は、八千万円を下らざるものと考えるのであります。

商業の振興對策

当市の立地條件に鑑み、特に貿易による留萌港の活用に重点をおき、港灣施設の充實、完備と相まつて、貿易商社と外国爲替取扱金融機関の誘致を図らんとするものであり、金融の円滑化については、道信用保証協会支所の誘致のほか、市の資金預託による中小、企業融資制度を創設せんとするものであります。

文化厚生施設の充實、完備

文化厚生施設の充実完備は「住むために快適な留萌」建設に緊急不可欠とする事柄でありますので、学校敎育においては既設小、中学校十一校舎の全面的整備と小、中各一校の新設のほか經済の向上に資するため、商、工、水産を課程とする高等学校一校の新設を計画し、社会教育施設としては図書館併設の中央公民館の新設、市内地方公民舘九カ所の新設を計画いたしました。又体育施設としては、そのセンターとしての敷地三万坪程度を買收、整地を[illegible]い、これに陸上、野球、[illegible]排球、相撲、スキー、水泳の各設備を新設するとともに建坪四二〇坪の体育館の建設を行うことにいたしたのであります。

保健厚生施設としては、市立東、西両國保病院の整備擴充と国保事業の充実を図るとともに新たに元町に診療所を新設し、更に地方基幹病院並びに結核療養所を設置經營することとし、又汚物處理施設の充実を図ることを計画しております。

社會勞働施設

授産施設、職業補導所、老人ホーム、生活舘、勞働金庫出張所の新設をなすほか既設の保育所、勞働会舘等の設備充実を促進することにいたしました。市民の住宅難解消については、従來とも鋭意努力してまいつたところでありますが今なお不足數七〇〇戸に達する深刻な実情にありますので、能う限り充足を図ることとし、第一期計画五ヵ年度間には、道營アパート五棟六〇戸、母子住宅六棟三六戸、身体障害者住宅九棟五四戸、市職員住宅一八棟三六戸、一般公營住宅二〇棟一〇〇戸、更に住宅金融公庫の建賣住宅五〇棟五〇戸、合計一〇八棟三三六戸の建設を行わんとするものであります。

消防施設の充実

当市は全國有數の多雪强風地帯である爲、防火及び消火施設のより充実を必要としますので、防火については都市計画事業において万全を図る措置を講ずるとともに、消火施設としては消防ポンプ自動車二輛、雪上ポンプ自動車一輛、小型ポンプ自動車七輛を新規購入すると共に、貯水槽設置一一ヵ所、消火栓設置一五ヵ所のほか、市街地全區域に火災報知機を新設し、防、消火両方面に亘る万全を期せんとするものであります。

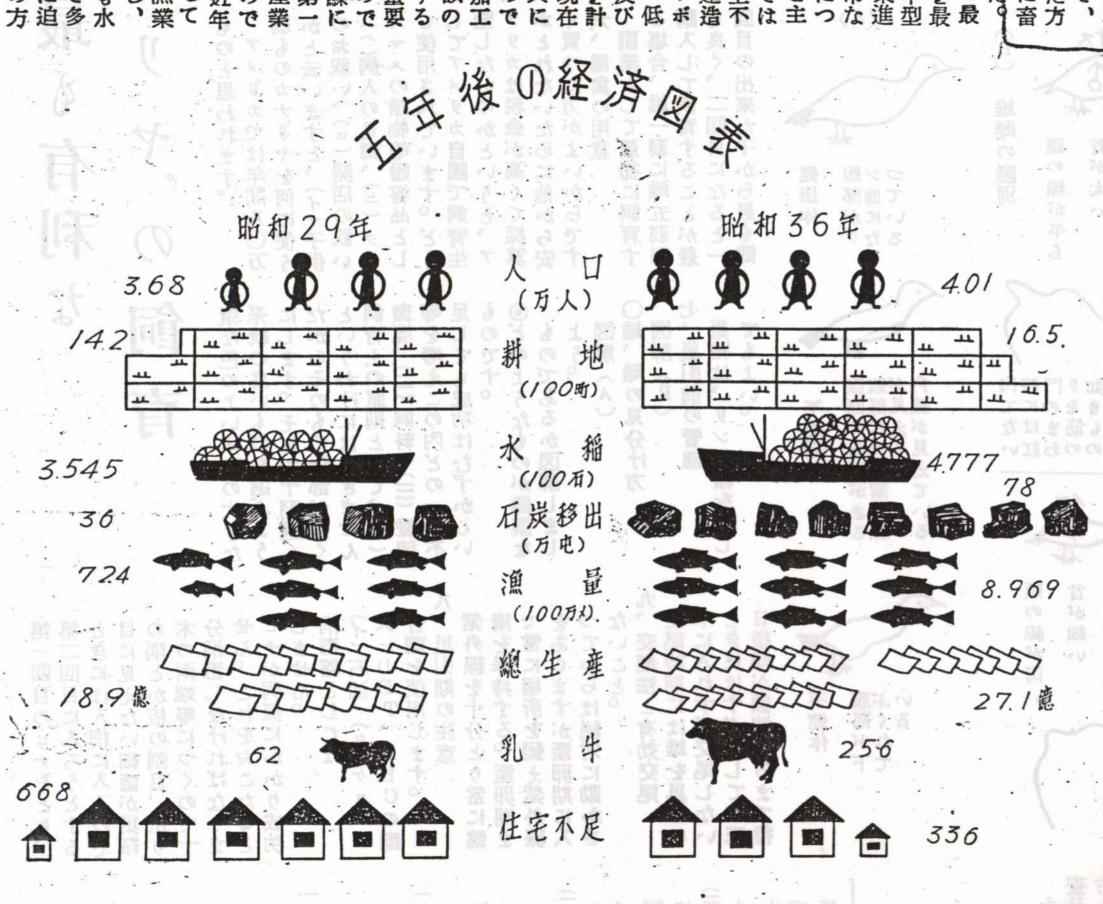
以上の如く本計画は、頗る多岐多様に亘り、その經費、亦、多額に達するのでありまして、これが財源の獲得と円滑なる事業遂行はまことに容易ならざるものがあることが予想せられるのでありますが、「旅人は先ず、出發しなければ旅行の目的地に到達することができない」ことに鑑み、敢えて計画策定し、万難を排して强力に推進せんとする決意でありますので、市民各位の御協力、御聲援を切にお願い申し上げる次第であります。

開基八十周年、市制施行十周年の事業と行事

次に本年は、本市の開基八十周年、市制施行十周年を迎えましたので、これを機に往時を追憶して思いを新たにする温故知新の機会たらしめるとともに市民の愛郷精神を鼓舞振作して明日への飛躍、發展に資するため、永久に殘る記念事業を實施するほか、全市的な歴史的祭典として絢爛多彩な行事の展開を計画し、その實施協賛機關として全市民の賛同協力を得て既に留萌市開基八十年市制施行十年記念協賛会の創立發足を見たのであります。

記念事業としては、本市財政の基底を培養、鞏固たらしめる市有地植林に依る基本財産の造成をはじめとし、市史の編さん、字名の改正と地番の調整、大野球場の完成、留萌驛前道路の全面改修、南大通の舗裝完成等があり、行事としては記念式典をはじめとし、市政功勞者の表彰、市政功勞物故者の追悼慰靈祭、博覧会、展示会、敬老会の開催並びに全道青年大会、全道婦人大会その他全道的な行事の施行を目論んでおりますので市民各位の御協力と御支援を切にお願い致します。

（予算の説明は紙面の都合により省略します）



漁村青少年の組織を推進

漁村の再建を圖る

毎年の凶漁で、漁村はすつかりさびれ、つかれています。

この漁村を再建し、明るい村づくりをするためには青少年の力が必要です。

しかし如何に熱のある青少年でも個々の力では弱いものです。この個々の力を結集して組織をつくつて活動すれば大きな强い力となり漁村再建の推進力となることができるのでありまして、この度漁村青年組織化運動を推し進めることになつたのであります。

しかし青年達が組織をつくるのに、上からの命令や指示によつてすべきものでないことは当然のことで、青年達が自らの意志によつて自らの手でつくるべきです。今回の市の計画は青年の皆さんに組織をつくる氣運をつくりだす呼び水的な役割をしたいという考えから樹てたものです。

〇計画の概要は次のとおりです。

1 中学卒業者以上四十才までの方をこの運動の対象としました。

2 どんな形の組織にするかは、青年の皆さんの決定によることにしておりますが、何れの形の組織にせよその目標とするところは「漁村の生産を中心とした組織による實踐活動」にあります。

3 市が中心となつて、支廳水産課、市教育委員会、漁連支所、漁信連支所、市漁協組と一体となつてこの運動を進め、近く部落に入つて皆さんとひざつき合わしてこの問題について話し合うことにしております。

4 育成の方法

(1) 指導機関相互に連絡をとり、組織に対して助言、相談、意見の交換を行う。

(2) 漁業の開拓試験、加工試験、淺海増殖事業の實施その他の試驗研究を組織に行わせる。

(3) 組織が行う事業に対して指導機関は物心両面の助成をする。

(4) 講習会、研究会を行う。

(5) その他育成に必要な方法をとる。

留萌ー東京間

定期航路開設さる

留萌ー東京間の定期航路の開設は、留萌にとつて永年の懸案でこの實現の運動に力をつくしておりましたが、この度三井船舶会社によつて三月から開設しております。

從來この定期航路の開設がないために貨物の輸送は他の港が利用される傾向で留萌港の利用が少く港勢の振興上大變不利な狀態でしたが、この定期航路の実現によつてそうした不利な面が解消されることになつたわけです。

この定期航路には新造船「朝海丸」（三、八〇八トン）が就航しております。

（写眞は留萌港に入港した朝海丸）

春は火災シーズンです

ー豫防に必要な八ツの注意ー

毎年のことながら、春には南方大陸から張り出して來る移動性高氣壓が北海道をおおうため、晴天が續いて乾燥し、また風の强い日も多いので、極めて火災が發生しやすくなります。そして一度出火すると大火災となる公算が相当大きく一年を通じて最大の火災危險期とされています。

昨年は異常乾燥のため全道各地に大小の火災が續發しました。この危險期に対處するためお互に次のような点を注意して、火災からわが家、わが職場を守り、明るい郷土を築きましょう

1 ストーブ、煙突の原因による火災は毎年總件數の四割以上を占めていますが、春先になると点檢修理がとかくなおざりがちになります。少しでも具合が惡いと思うときはすぐ修理するか取替えるかしてそのままでは絶対に使わないように心がけましょう。

2 乾燥しているときはどんな小さな火のもとでも火災の原因になります。特に煙突の火の粉、取灰煙草の吸殻などは危險ですからよく注意して完全に始末するようにしましょう。

3 小樽市色内町の大火は子供の火遊びが原因です「最近この種の火災が増加し、特に農繁期の農家などに多く發生していますが、火遊びに使われるマツチなどの保管には十分に注意しましょう。

4 火災警報が發令されたときは、不必要なたき火やたばこの火には特に注意しましょう。

5 消火施設は常に有効に使用できるよう整備しておき、非常の際にはその効果を十分に發揮させることができるよう使用法

特にゴ[illegible]ときは避難のた[illegible]必要な方法を考えておきましょう。

7 火災を發見したときはたとえ消火できる自信があつたとしても、それが大事に至る例が多いのでただちに附近の人に知らせて應援を求めると同時に消防機關へも必ず通報しましょう。

8 消防機關の予防査察指導には、積極的に協力してその助言を受入れるとともに、防火上の不明な点については進んで相談しましょう。

メートル法に慣れよう

昭和三十四年からメートル一本に

いろ〳〵なかたちをとりながら、私共の生活に密接なつながりをもつているものゝ一つに「計量」即ち物をはかるということがあります。

例えばご飯をたくにもお米がいくら、水がいくらということですし、着物をつくるときには、物さしで長さをはかり、赤ん坊が生れると体重を、又、具合が惡いといえば、体温計で熱をはかりますし、お買物は勿論、ほとんどのものが「はかり」ではかつてもらう譯です。

こうして見ると、家庭の中で一番計量的な生活をしているのは奥さん方であるといえましょう。そして奥さん方の計量的な努力と御苦労で、家庭の經濟が保たれていると云つてもよいと思われます。

しかし、ふりかえつて、この計量に使われている単位を考えてみますと、手近なところでも、お米の配給はキログラムで、パンは何斤、肉や野菜は匁、バターはポンド、正油はリットルで、酒は升でという具合であり、お裁縫に至つては、実に尺、鯨尺、メートル、インチというふうに四種類もの使いわけが、必要となつている現状で、「ものさし」だけでもかね尺、鯨尺ヤール尺、センチ尺というように、いろ〳〵の種類の計量器がいるので、非常に經濟ですし、はかるときに問違えたり、まぎらわしかつたりして、苦労した經驗は、どなたもあると思います。

そこで、單位を一つにするのには、メートル法が一番適当しているのであります。わが国でも明治十八年メートル條約に加盟し、大正十年に法律でメートル法を採用し、昭和二十六年にできた計量法では昭和三十四年一月からは、メートル法以外の單位をつかつてはいけないことになつております。

それでは、メートル法はどういう点ですぐれているか例をあげると一つの邊が十センチメートルの「ます」に水一杯で一リットル、そしてこの目方は一キログラムとなるように、長さ、面積、体積、目方の間に、非常にはつきりした關係があること、その他十進法で、おぼえ易いし、大きい單位から小さい單位まで、統一されてそろつています。

現在世界で、メートル法を使つている國は八十一ケ国に及んでいます。メートル法への統一は、わが國のみでなく、各國とも努力をしており、ヤード、ポンド法の本家であるイギリス、アメリカでさえも、メートル法に移りつゝある現状であります。

北海道においても、すでに三月からデパートでは、食料品などからメートル法を採用しており、官公廳も卒先して、メートル法を使用しております。

学校では、メートル法をならい、家へ歸ると、尺貫法やらヤード、ポンド法など、子供たちがいろ〳〵の単位に慣れようとしている苦勞をみるとき、慣れるまでは、大變でしょうが、一日は一回でも多くメートル法を使つて、昭和三十四年一月からは、楽にメートル法に切替えできるように、心の準備を整えられ、早くメートル法に慣れ親しんでいただきたいと思います。

庁内めぐり（五）

なに課のどの係ではどんな事務を扱うか

社会福祉
- 福祉係
- 社会係
- 勞務係

社会福祉事務所では、市民全部が健康で文化的な樂しい生活が出來るよう、不幸な方々の相談相手となり生活保護、失対事業、公益質屋、保育所、勞働会舘の經營等社会福祉の增進を図るところで、青石所長以下二十一名の職員がつぎの係に分れて仕事をしております。

△福祉係　生活保護に關すること、兒童或は身体障害者の福祉に關すること、民生委員、兒童委員に關すること、戰傷病者や戰没者遺族の更生に關すること、母子世帯に關すること、精神衛生に關すること、保育所その他福祉施設に關すること、社会福祉團体に關すること。

△社會係　新生活運動を推し進めること、公益質屋及び生業資金の貸付を行うこと、共同募金及び貯蓄に關すること、災害救助に關すること、公營住宅の維持管理をすること、行旅病、死人及び浮浪者を取扱うこと、元軍人、軍屬關係の年金に關すること。

△勞務係　勞働者の福利厚生に關すること、勞働会舘及び日雇勞務者集合所の維持管理すること、失業対策事業の調査及び計画をたてること、失業保險、勞働災害保險及び日雇勞働者健康保險を取扱うこと。

入學おめでとう

市内各小學校の新入學兒童は一、〇四〇名で、これを各学校別にみると次のようになつています。

留萌小学校	三六九名
東光〃	二八四〃
港北〃	一〇八〃
禮受〃	三九〃
三泊〃	三一名
潮靜〃	一〇三〃
藤山〃	二四〃
幌糠〃	三九〃
中幌糠〃	八〃
樽眞布〃	一五〃
峠下〃	一一〃
〃豊平分校	九〃

圖書館案内

一、図書の貸出について

図書館では館内閲覧の他に、利用者に便宜を與えるため貸出もして居ります。

資格……市内に一定の住居を有し、年令十二才以上であること。

手続……図書貸出券交付願（用紙は図書館にあります）を提出し、圖書貸出券の交付を受ける。

以上の手續を經ると図書館にある特定の本（禁帯出）を除き、一回に一冊、貸出日數四日の範囲で貸出を致します。公共図書館ですから經費は一切とりません。

週間雑誌、月刊雑誌も前月號により貸出致します。

二、アメリカ文化センター巡回図書について

アメリカ文化センターから翻譯図書三五冊雑誌二一冊が唯今來て居ります。期限は四月三十日までゞす。

三、レコードコンサートについて

毎月第二、第四金曜日午后六時半からLPレコードコンサートを図書館で行つて居ります。多數御來場下さるようお待ちします。曲目は開催前日新聞紙上に發表します。

〝ゴミ〟の収集に御協力下さい

雪どけの季節となり家のまわりの汚れが目立つてまいりました。市では街の美化と衛生上から毎日トラック二台と馬車六台で冬期間中のゴミや炭殻を集めております。市民の皆様には少しでも能率があがるよう、次のことに御協力下さるようお願いいたします。

一、家庭のまわりのゴミを集めてゴミ箱に入れて下さい。

二、雪に埋つているゴミ箱は掘り上げて下さい。

三、炭殻は市で設けてある炭殻箱に入れて下さい。

四、小路にある家庭では小路の除雪をお願いします。

タバコは市内で買いましょう

融雪期の水害に備えて

毎年、四月、五月の雪どけになると、各地が洪水に見舞われ、大きな被害を受けています。

今年はとくに、大雪ですから、雪どけ時期を迎えて洪水を防ぐために、自分の街は自分の手で協同の力で防ぎましょう。

一、排水溝は常に水が流れるように清掃して下さい

二、排水溝にゴミを捨てないで下さい。

春の防犯心得

押賣被害の豫防

1 あらかじめ、隣近所と相談しておき、押賣がきた場合は大勢の力でげき退する。

2 心のすきを見せないで言語態度を嚴然として断る。

3 言動に怖れることなく冷靜沈着に應対しなるべく家の中へ入れないで處理する。

4 「押賣りお断り」などの標示を各戸ごとに貼り出して、立入りの余地をなくする。

5 証明書や有名人の名刺などを利用する者もいるので、輕々しく信用しない。

6 買う値段をきいたりしないで、始めからきつぱり断わる。

自衛隊員募集

四月一日から本年度の自衛隊の募集を行つております。くわしいことは市役所総務課、または自衛隊留萌駐とん地部隊にお問い合せ下さい。

應募資格

年令〜滿一八才以上滿二五才未滿の男子

學力〜新制中学卒業程度以上

身体〜身長一、五五米以上

体重四八瓩以上、視力は裸眼で〇、六以上

その他强健完全な者

志願手續

市役所総務課から志願票をもらい、四月二十五日までに提出して下さい。

試驗

志願者には受験日等が通知されます。試験は筆記（国語、數学、社会）身体檢査、口述の三課目で一日で終ります。試験は留萌で行われます。

郷土室 ⑤

＝前松前氏時代の留萌＝

(2) 藩政弛緩期（寛永十八年から享保五年まで七十九年間）の留萌概觀

この時代には、その中頃に近く、東西蝦夷地共に蝦夷の叛乱と、その征伐とに、松前藩が多大の努力をしたことが、最も大きい出來ごとであるがこれは交易に不正が多かつた為に、夷人が不滿のあまり蜂起したのが原因である。しかし蝦夷地全般に亘るこの大事件も天塩沿岸地方では、和人と夷人との交易が少かつた爲かその資料は全然殘つていない。

その後はよく和人と夷人との融和が保たれ、全蝦夷地の開拓が、次第に行われていつたのである

西蝦夷地では、この時代に入つて、鰊、鮭、鱒昆布等の漁獲高が、だんだん向上すると共に、和人の關心が次第に移り蝦夷地から奥蝦夷地えと行き、和人の移住者も、次第に増加していつたようである。

元祿、寛永前後、蝦夷地にときどき戸口調査が行われているが、留萌地方の人口については、何の記録もない。只元祿の始め、幕府の命をもつて神威岬以北に、婦女の通行を禁じたことが傳えられているから、奥蝦夷地へ、和人の男子が相当多數入込んでおり、漁場の開かれる寸前に、情勢が既に迫つていることがうかがわれるのである。

(3) 藩政中興期（享保五年から明和二年まで四十五年間）

中央で幕府政治の刷新が行われたとき、松前氏の政治にも刷新が行われいわゆる中興期を形成するに至つたのである。漁場の開拓進展のもたらす鰊その他の運上金（註）の向上、山林開發のもたらす材木運上、通商船運上等の增加等、松前氏の財政は、益々余裕を示すに至つた。天塩沿岸にこの時代に設けられた漁場の運上金も多少たりとも、藩の財政を支持したであろうことはいうまでもない。

（註）徳川時代に行われた一種の税金で、商業工業、漁業、運送業等の營業者に一定の税率をもつて課税したものである。

（写眞は往時の鰊枠船）